



〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉
〒191-0054 日野市東平山 3-1-1 ☎042-585-8061

【 摩文仁の丘に立って 】



以前、沖縄の平和の礎に行きました。さわやかな風の中で摩文仁の丘に立ち、静かな青い海を眺めました。沖縄戦末期に女性たちが次々に崖から身を投げたあの場所です。

吹き渡る風の中、静かな海と青い空がそこにはありました。
沖縄北部に追い詰められた、沖縄の人々と日本兵、ガマ（自然の洞窟）に身をひそめることしか出来ない、そこにアメリカの軍艦からの激しい艦砲射撃、もうどこにも逃げ場がありませんでした。

そこで本当にそんなことがあったとは想像もつかない美しい風景でした。あの日もおそらく、海も空も風も同じだったのでしょう。違うのは今戦争をしていないという事だけです。

私たちの中の戦争は、非日常的なものであり、なにか特別な事だという考えがあるように思うのです。何か世界が変わったような。しかし、海も空も風も何も変わることなく、ただそこで人が殺し合っているだけなのです。

日常の中で、意見の相違から多少の争いが起きていますが、互いが武器を持ち合ってまでしません。武器をもったら必ず殺し合いになるからです。そんなこと怖くてできません。
人同士の争いが国同士の争いになると、どうして武器をもちあうのでしょうか？
相手が武器をもって攻めてきたら対応できるよう争いが起きる前に武器をもつ。
そして、いざ争いが起きると戦争（人の殺し合い）が起こる。

私には非日常とはどうしても思えないのです。

日本も他の国といざこざが起きています。いつ争いに発展するかわからない。
もしかしたら争いの一步手前に来ているかもしれません。

もう二度と政治家たちに騙されることは絶対にはないと思うのです。
それが、あの戦争で亡くなられた多くの方の思いであり約束なのだと。

令和 8 年 7 月 吉日
介護老人保健施設クローバー
事務長 佐藤 春俊